

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-297923

(43)Date of publication of application : 21.10.1992

(51)Int.Cl.

G06F 5/00

G06F 15/20

(21)Application number : 03-062285

(71)Applicant : NEC SOFTWARE KANSAI LTD

(22)Date of filing : 27.03.1991

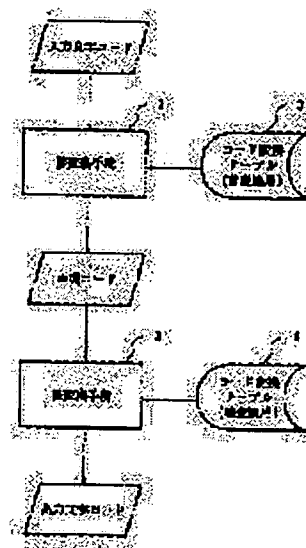
(72)Inventor : TAKAHASHI TOSHIMI

(54) CHARACTER CODER CONVERTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To reduce a code conversion table to be prepared in advance by first converting an input character string to an intermediate code train and next converting the intermediate code train to an output character code train.

CONSTITUTION: A preconverting means 1 executes preconversion to the intermediate code train while referring to a code conversion table 3 from a JIS code to an intermediate code. Next, a post-converting means 2 executes post-conversion to an objective output character code train while referring to a code conversion table 4 from the obtained intermediate code to an EBCDIC square form of Japanese syllabary (KANA) code. For example, when an X code system is added to the input character code, conversion to all the output character codes is enabled only by adding a conversion table from an X code to the intermediate code and for example, when a Z code system is added to the output character code, conversion from all the input character codes to Z codes is enabled only by adding a conversion table from the intermediate code to the Z code.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-297923

(43)公開日 平成4年(1992)10月21日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 5/00	A	9189-5B		
15/20	5 0 9 D	6945-5L		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-62285

(22)出願日 平成3年(1991)3月27日

(71)出願人 390001395

関西日本電気ソフトウェア株式会社
大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号

(72)発明者 高橋 敏美

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号関
西日本電気ソフトウェア株式会社内

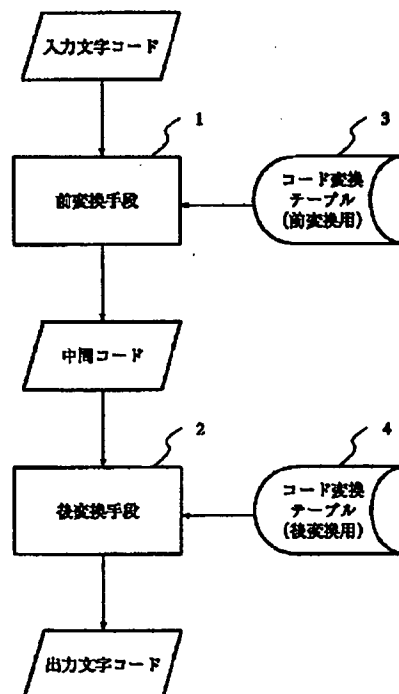
(74)代理人 弁理士 内原 晋

(54)【発明の名称】 文字コード変換方式

(57)【要約】

【目的】文字コード変換のために準備しておくコード変換表の種別を少なくして記憶容量を削減する。

【構成】文字コードと予め定めた中間コードとの対応をとった中間コード列に変換し、後変換手段2により中間コード列を目的とする出力文字コード列に変換する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文字コードと予め定めた中間コードとの対応を持つ複数の変換表と、この変換表を参照して入力文字コード列を前記中間コード列に変換する前変換手段と、前記変換表を参照して前記中間コード列を指定された出力文字コード列に変換する後変換手段とを有することを特徴とする文字コード変換方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は文字コード変換方式、特に情報処理装置における文字コード変換方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種の文字コード変換方式は、入力文字コードから出力文字コードへの変換表を参照して、入力文字コード列を直接出力文字コード列へ変換するようにになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来の文字コード変換方式は、入力文字コードから直接、出力文字コードへのコード変換表を使用しているため、入力文字コードまたは出力文字コードが変わると、それまで使用していたコード変換表が使用できないので、想定される入出力コードの総ての組合せのコード変換テーブル、例えばJISコード、EBCDICカタカナ、ASCIIコードおよびEBCDICコードの4種に対して、図3にコード変換表の種別を示すように12種の変換テーブルを用意しなければならないという欠点がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の文字コード変換方式は、文字コードと予め定めた中間コードとの対応を持つ複数の変換表と、この変換表を参照して入力文字コード列を前記中間コード列に変換する前変換手段と、前記変換表を参照して前記中間コード列を指定された出力文字コード列に変換する後変換手段とを有することにより構成される。

【0005】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0006】 図1は本発明の一実施例の構成図、図2は

図1の実施例に用いられるコード変換表の種別を示した図である。図2のコード変換表の種別は、入力文字コードと出力文字コードとがJISコード、EBCDICカタカナ、ASCIIコードおよびEBCDICコードの4種の場合に対するもので、項番1、～8で示されている。

【0007】 図1におけるコード変換の処理を、JISコード列からEBCDICカタカナコード列への変換の場合を例にとって説明すると、まず前変換手段1はJISコードから中間コードへの図2の項番1で示されるコード変換テーブル3を参照して中間コード列への変換を行なう。次に後変換手段2は得られた中間コードからEBCDICカタカナコードへの図2の項番6で示されるコード変換テーブル4を参照して目的とする出力文字コード列への変換を行なう。

【0008】 なお、入力文字コードに例えばXコード体系を追加した場合は、Xコードから中間コードへの変換テーブルを追加するだけで、全ての出力文字コードへの変換が可能となり、出力文字コードに例えばZコード体系を追加した場合は、中間コードからZコードへの変換テーブルを追加するだけで、全ての入力文字コードからZコードへの変換が可能となる。

【0009】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、入力文字列を先ず中間コード列に変換し、次に中間コード列を出力文字コード列に変換することにより、予め準備しておくコード変換テーブルの種別を従来に比べて格段に削減できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の構成図である。

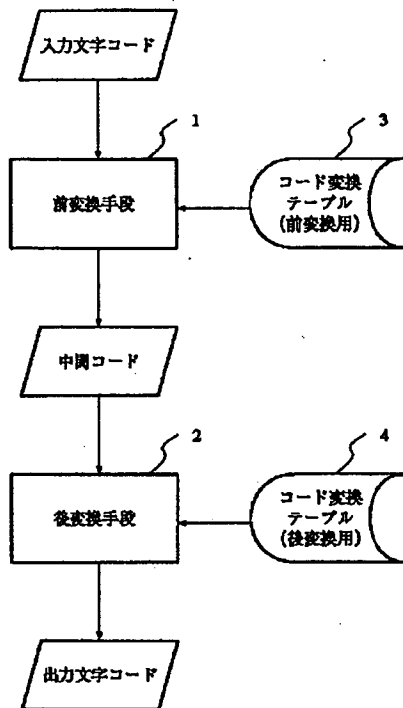
【図2】 図1の実施例に用いられるコード変換表の種別を示す図である。

【図3】 従来の文字コード変換方式に用いられるコード変換表の種別の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 前変換手段
- 2 後変換手段
- 3 コード変換テーブル（前変換用）
- 4 コード変換テーブル（後変換用）

【図1】



【図2】

項番	コード変換テーブル内容		備 考
	入力文字コード	出力文字コード	
1	JISコード	中間コード	前変換用
2	EBCDICカタカナ	中間コード	
3	ASCIIコード	中間コード	
4	EBCDICコード	中間コード	
5	中間コード	JISコード	後変換用
6	中間コード	EBCDICカタカナ	
7	中間コード	ASCIIコード	
8	中間コード	EBCDICコード	

【図3】

項番	コード変換テーブル内容	
	入力文字コード	出力文字コード
1	JISコード	EBCDICカタカナ
2	JISコード	ASCIIコード
3	JISコード	EBCDICコード
4	EBCDICカタカナ	JISコード
5	EBCDICカタカナ	ASCIIコード
6	EBCDICカタカナ	EBCDICコード
7	ASCIIコード	JISコード
8	ASCIIコード	EBCDICカタカナ
9	ASCIIコード	EBCDICコード
10	EBCDICコード	JISコード
11	EBCDICコード	EBCDICカタカナ
12	EBCDICコード	ASCIIコード